

「情報公開文書」

受付番号：

課題名：乳癌ハイボリュームセンターにおける逆紹介と業務効率に関する調査

1. 研究の対象

以下の①または②に該当する方が対象となります。

① 2014年4月1日から2023年3月31日までにがん研有明病院乳腺センターに受診された患者さんの中で、すでに乳がんの診断を受けており、がん研有明病院乳腺センターから他の医療機関へ紹介状が発行された方

② 2014年4月1日から2023年3月31日までにがん研有明病院乳腺センターで原発性乳がんの手術を受けた方。StageIVや再手術（追加切除術、同側乳房内再初に対する手術、止血術など）、乳房再建術のみ、自費診療の方は除きます。

2. 研究期間

倫理審査委員会承認日～西暦2025年3月31日

3. 研究目的

日本では現在、大病院での専門治療と地域医療との連携がとても重要視されており、がん研有明病院乳腺センターでも地域連携について積極的に取り組んでおります。この研究では地域連携が活発になることで、乳腺センターでの業務効率が改善するという仮説をたて、過去の診療情報を用いてこれまでの逆紹介（乳腺センターから地域の病院への紹介）の実態調査を行い仮説の検証を行います。

4. 研究方法

下記の臨床情報を電子カルテや院内データベースより取得します。得られたデータより逆紹介の特徴や変化を分析します。また、手術数や労働生産性（人員あたりどれくらいの収益が出たか）について調査を行い、逆紹介との関連を検討します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報として病歴、治療歴、乳腺センターより発行された診療情報提供書を利用します。また、医師数や病院の収益などはがん研有明病院のデータベースより利用します。

6. 情報の保護と保管

研究に関わる者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守し、研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限の努力を払い、この研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了時に廃棄します。

7. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へ情報を送る際には、暗号化機能を用いた外付けハードディスクを用い、郵送にて情報を提供し、到着後は速やかに共同研究施設の責任者の部屋の鍵付きのキャビネットの中に保管します。研究終了時にハードディスクについては処分を行います。

8. 研究組織

多機関共同研究

がん研有明病院 乳腺センター 片岡 明美（研究責任者/責任代表者）

がん研有明病院 乳腺センター 乳腺外科 玄 安理

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 大脇 和浩（帝京大学大学院公衆衛生研究科での研究責任者）

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 玄 安理

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者/研究代表者：

氏名：片岡 明美

所属：がん研有明病院 乳腺センター 乳腺外科

住所：〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31

電話番号：03-3520-0111